

水土里レポート

投稿月日	令和6年7月9日
タイトル	田原用水の起点を目指して
水土里レポーター名	水土里ネット吉井川下流 前田明彦

令和6年7月8日に当改良区管内の赤磐市立豊田小学校5年生が、身近な学区内を流れている田原用水の起点を見たいということで、新田原井堰を見学しました。新田原井堰では、まず最初に約370年前に作られた石積で出来た旧田原井堰の話をして、昭和60年度に完成をした新田原井堰の役割や仕事内容を説明しました。



旧田原井堰



新田原井堰



旧井堰は長さ約500mだよ
新井堰は、220mだよ

- 新田原井堰では、小水力発電もしており現在、更新工事の最中で工事業者の方より小水力発電施設についての説明を聞き、火力とは違い自然のエネルギーを使って発電をするため、クリーンな電気ですと説明。

- 新田原井堰では、24時間365日誰かが操作し、大雨時には、人を増員してパトロールをして安全に水を流していることや、雨が降らずに水が不足するときに田原用水や下流の用水へ送っていることを説明。



新しい発電所は、1時間の運転で1990台のエアコンを1時間動かせるよ

新田原井堰説明後、田原用水和気地区内の除塵機の見学を行いました。



現地では、除塵機を動かしてどのように使われるかを実際に見てもらいました。ゴミがかかり通水障害を起こしたときに上下流の水位差で動いたり、タイマーにより定期的に動くことを勉強してもらいました。用水に水が流れていることは、児童も知っていましたがいろいろな場所でいろいろな施設があり、たくさんの方が管理をしていることを学んでくれました。